

みなとアクルス エネルギーC見学

JABMEE中部
支部設備女子会

建築設備技術者協会（JABMEE）中部支部設備女子会は4日、名古屋市のみならずアクルスエネルギーセンターで第7回見学会を開いた。空気調和・衛生工学会中部支部、日本空調衛生工事業協会東海支部、電気設備学会中部支部、日本電設工業協会東海支部、日本設備設計事務所協会連合会東海ブロック協議会が後援。34人が参加し、東邦ガス

が管理する同センターの内部を見学した。写真。冒頭のあいさつで同支部設備女子会の榎本賢担当マネージャーは「電力の効率化など



新しい技術を学んでほしい」とし、藤原永知子運営委員は「同じ業界で働く仲間たちと交流を深めたい」と述べた。

続いて東邦ガスの大森晃都市エネルギー営業部営業第二グループマネージャーが「センターには、低温排熱利用小型発電機などの新しい設備がある。皆さんの仕事の参考にしたい」と語り、昨年9月にオープンした施設の概要を解説した。その後、同社の手掛ける都市ガスの供給事業について説明し、石橋奈保子用地開発推進部港明開発グループ主任が施設内を案内した。

